



14
3157
25
(2)
止



衣類 下

衣類

○十二單。十二の内衣。ヌツ衣 上曰
オニツ

○袴。表袴。上衣 ウハキヌ
ウハノハヤヒ

○襷。表襷。上衣 タクヒモ
タクヒモハヤヒ

○腰帶。腰帶。上衣 タクヒモ
タクヒモハヤヒ

○腰帶。腰帶。上衣 タクヒモ
タクヒモハヤヒ

○腰帶。腰帶。上衣 タクヒモ
タクヒモハヤヒ

○腰帶。腰帶。上衣 タクヒモ
タクヒモハヤヒ

○ひねりかき。日上。後。狼上。ワキアテ。うのりのす
うみつれの。掌の袖。えき上のれのまく
小まのまく。掌の袖。えき上のれのまく
ほそみぐ。毒花。そき女のまわく又いとけ
ゆき上脣のよもよもくねくもの
ひねりぬく。當衣。モ。上。もし。下。もし。
長ひれど。当衣。未。もし。下。もし。
しきり。ものいのひり。もひれの財かるの
候すとおはのとくう。城はあくろり
。おやくと上脣。羽曰。是も上脣をうる
おりゆく近義或えよまとおほふのれく眉。よ
くらむちひらハ諸侯ニ原赤ツム。きくけ子ノ羽

ひきゆひつけたり。うきとあり。上脣のまく。狼。タイ
女へうれのとよと男へくるのとよもよ。狼。タイ
白氏。青羅裙帶。叔角云。上曰。裙。下曰。裳。宋女之
裝束也。○肩巾。領巾。帽巾。幘巾。

万卷。ね申佑。あはり。ひれうと。うと。袖のまく。里
と袖のまく。歎のまく。孟。ひれハ女脣の
紫。あよ。褐布。絞巾。絞。春。著。領巾。秋。著。被巾。
註曰。婦人頭飾也。矣。絞。うね。女のあそも。そと
のもうきぬ。うね。ひれと。ま。圍。ア。中。せの
下。うね。女。ひれ。ひれ。上。つ。せ。よ。あ。う
女のうね。又。ハ。うね。よ。ひれ。ハ。袖。うね。と。あ。う
安。安。後。ひれ。うね。ひ。い。ば。三。ハ。婦。女。の。紫。粟。玉。史。金。金。

まよめりあす今の嘗めの掛け事ことと大おほ掛かけとハ肩かた中なか
トリ縫ししハくそくふろそーと縫しハ裳はらはらと付つくすく
ゆく今のは此このふを一つひととちけで名なのとそく初はじとく
れ詰つ物ものの後あとのあを已い合あへ

詰つ事こと

左さ右うともともと

付つち

肩かた中なか

今いま掛かけ
とつひれ

裳はらはら

付つち

め民みんニキエ
おぶすハニウ
よねりて
太おほてのト
角つのとち付
されそリ縫し

人ひとハ告こえよそちけを

足あしを大おほ猿さるとす

「嘗めの鷹たかゆく今の小こ猿さるとす

のひしき

人ひとハ告こえよそちけを

足あしを大おほ猿さるとす

アカキヌ

極きわと茜あかね

コウシキ

小こ袴はまぐさ。うちきすく、

柔じゅわの底そことと。小こ袴はまぐさ。

うちきすく、

小こうちき女めの腰こしとと衣きぬを玉たま附つきハ腰こしとと例たとえ
たううちきハ男おとこの腰こしとと天あまの腰こしとと人ひととと桂けい
の人ひとととにに腰こしとと。女めの腰こしとと引ひくとと男おとこの腰こしとと人ひととと桂けい
ととひハ腰こしとと腰こしとと。官式かんしきハ一いつのの人ひと又またハ
るる一いつあるるハ腰こしとと腰こしとと。女めの腰こしとと引ひくとと女めの腰こしとと房ふさととハ腰こしとと。足あし名な。脚あし人ひとの上の衣きぬとと和わ名な。
桂けい字じ知し岐ぎ漢かん詔せ拘く作つく御ご。折たたまの衣きぬとと。あが後ご。
小こうちきハ小こ袖そでの腰こしとと。度たど袖そでとと。度たど袖そでとと。度たど袖そでとと。度たど袖そでとと。

まうてさゆくを地下の志武家の女ふさうきの朝
よ小袖をあうぐる是をかいどりとつ

○役醫オホウカミ 東タチ 小袖の。縫ツナメ 行ヒトヘキス 衣キス 墓衣

○太帷オホウカミ とも。かさくうれすもをさるハト仕
上鷹カミハシ のえく下仕とすハ得選タマシテ あり

西官カミハシ は衫カミハシ 麻カミハシ きぬく。前カミハシ 女のえぬう
あすのヒのやうるるあうると。松カミハシ まへつ。櫛カミハシ

友カミハシ はきく。ハくそく。かさくさの字すみてあもへ下
アコメ 祖カミハシ 祖カミハシ は寝カミハシ 加名カミハシ 阿吉女岐沼カミハシ の下カミハシ は暮

○祖カミハシ 祖カミハシ は寝カミハシ 加名カミハシ 阿吉女岐沼カミハシ の下カミハシ は暮
ねく祖カミハシ 一說カミハシ 部子サ

あくめのえう。拂カミハシ ひれへく。祖カミハシ 太カミハシ まカミハシ 四角カミハシ そろ
度袖カミハシ く

○摺カミハシ 練カミハシ

農本カミハシ やうと。ハツカミハシ あま、ふのうよ。あれ
ともさよあいの原カミハシ 一日カミハシ きう。わく。アキ

う。く。一。き。と。を。あ。御カミハシ 一。日カミハシ ほ。え。ス。ス。ト。す。ト。
ね。ま。く。ち。く。見。フ。引。く。ね。ま。く。と。く。ゆ。く。い。ろ
○押カミハシ 生カミハシ わ出カミハシ 安無カミハシ 暮カミハシ う。日カミハシ な。の。下カミハシ と。あ。と。よ
り。女。房。の。衣。つ。ま。を。お。一
お。一。て。お。一。ア。モ。ア。モ。女。房。の。ま。く。女。房。の。不。可。不
き。が。り。押。し。安。く。う。衣。ス。ハ。ア。ー。お。の。れ。く。单。の。時
ハ。カ。か。ヒ。ア。用。も。も。も。も。建。き。き。中。か。も。リ。ヨ
中。官。の。在。せ。ゆ。ひ。て。う。つ。の。つ。の。の。お。一
押。出。ひ。う。の。ま。う。下。男。

○店カミハシ 店カミハシ 宮女カミハシ の。房。く。へ。行。れ。ひ。一。つ。ハ。つ。不
き。り。の。店。醫。東。小。袖。の。ま。う。上。之。の。小。袖。う。

今。う。う。能。の。う。う。き。の。ま。う。上。之。の。小。袖。う。

○おとせきそく

〔引〕市、
金は厚きぬき

なれをつるぎとよ

孟。れをつるぎ。

〔カトリ〕女アヒつらう

今アヒのうとく。

○香方の衣。襷衣

えをよよたきもの。

〔ナハヤ〕女アヒの衣

まは休着アヒ。

○襷カヤヒ。布ヒ

○子。巫

〔引〕巫の席アヒ。

〔カトリ〕女アヒの衣

巫女の席アヒ。

○襷カヤヒ。巫

〔引〕巫の席アヒ。

〔カトリ〕女アヒの衣

巫女の席アヒ。

○襷カヤヒ。巫

○襷カヤヒ。

〔引〕巫の席アヒ。

巫女の席アヒ。

○襷カヤヒ。巫

○が。小袖。男女の衣を。○

〔引〕巫の席アヒ。

○が。小袖。男女の衣を。○

○が。小袖。男女の衣を。○

○が。小袖。男女の衣を。○

〔引〕巫の席アヒ。

○が。小袖。男女の衣を。○

○が。小袖。男女の衣を。○

〔引〕巫の席アヒ。

○が。小袖。男女の衣を。○

○小ね衣

サヨコロモ
形をすさらでまよおきうくのと
よれ我つまきぬつまるひもひそ
一ムスミシキミヨモ人のうまきとお手ると
さよれと女とめりえをとせら

○ぬき衣

キマ
ぬきめとくはつるちをきの
ぬきのれうしきそうともねあア

○中の衣

人とけとを人合へた夢ナガを
ゆきあふるえるかほり

○とぎ衣

あきまくらいたよのとぎ衣
不てんじうそれ外ういわくを

○袴衣

更け。カイトリ
の朝。カイトリ

○腰衣

カイトリ
腰ヒダのうそ

○袖衣

袖アラタ。我そて

○波

カツキ
浮くもくろくをかうきとどくうちをも

○ふり袖

こめ袖。つめ袖アラタ。东ふ袖

○袖衣

袖アラタ。白重シロタタ。四月移りし十月を、

○足ぬ袖

地夏く女房アガの腰とす。擦れの時

○腰卷

擦れの腰ヒダ二日地アヒタ。赤アカ地アヒタ。

○仇ノ理祭。友禅祭

サカニ祭サカニ。ナガニ祭ナガニ

神あふあく幸をうらみをとさもとめよ
人の名あきをすがちうりそくとく

○丹あ幸。急に庵をす。纏ハタ布ハタ依

○五月の辛。腰の下ヒトツヒタシ先スルしの時ヒトツヒタシを
さすのト。腰の下ヒトツヒタシ先スルしの時ヒトツヒタシを

○たまきタマキ女ヒメの身ヒメをまつておマツテる。袖アラタニ一

玉タマ手タマ鐵タマ泡タマのよタマをまつておマツテる。女ヒメ

玉タマ手タマ鐵タマ泡タマのよタマをまつておマツテる。女ヒメ

○憎ハナシのひき。かのひき。かのひき

手タマ強タマらタマ弱タマ。

手タマ強タマらタマ弱タマ。

手タマ強タマらタマ弱タマ。

手タマ強タマらタマ弱タマ。

手タマ強タマらタマ弱タマ。

手タマ強タマらタマ弱タマ。

注メモはむうハをとるき人に小袖アラタニをきとす。お
まつとあり。又今アラタニの世アラタニ。御アラタニとお
乃アラタニ。は女のたまき入アラタニたまきハ今アラタニのたまきやす。め
ぬとももなす。おアラタニたまきハ。被アラタニ締アラタニとす。ぬとももなす。おアラタニ
被アラタニ締アラタニ。もちきえり。よろそきをひあれと。是も全アラタニ
あくまえ。行アラタニて考アラタニ。○神アラタニ巻アラタニ。女ヒメのれう。法アラタニ村アラタニ。法アラタニ村アラタニ。

○憎ハナシ子ハナシ。ふのト。ゆりこ。し

なれハナシ。ねハナシ能ハナシ言ハナシ。

の女のハナシ。ふハナシ。

そハナシ。○湯ハナシ卷ハナシ。今ハナシ。今ハナシ。

は三ふ一ハナシ。まハナシ。湯ハナシ。入ハナシ。出ハナシ。湯ハナシ。出ハナシ。

いとうち女房の左の衣うちのよま
お月あまうまくまの白き衣のよま。朋衣ユカタヒラ上

○あとの御布キヤフ。もとも女のみえり

ゆどゆどとよハシタウツ。もろうまくまのあひの
今木もく御みえら。○襪ハタツ。日人の脚くさものくら
ちくづをもとと。走カタマリとめよもす。

○記念カタマリ。取見。信伊

元朝多々相數スミタク、わしこ。こてみ

卷用

○鏡

立タチ

合せハセ

丸マル

架カナ

小
ハすハス

古コトヒ

春ハス

丸マル

架カナ

一
トのるトのる

ひめヒメ

弓ヒメ

丸マル

架カナ

おのトオノト

弓ヒメ

弓ヒメ

丸マル

架カナ

。またまた

ま素マヌ

磨マヌ

丸マル

架カナ

ま御マモリ

まもくまマモクマ

後マモリ

丸マル

架カナ

とくとトクト

四シテ

とよもちトヨモチ

丸マル

架カナ

是シテ

上シテ

代シテ

丸マル

架カナ

ち十後とあくと十才のまよきえをう
のまよきえをまよひへ

。抱焼カミハセイ。床の上まとよ

。抱燒カミハセイ。ひもはりふをゆく

。ひめ燒スカラシ

。ちかさる。

。ちくわ。お燒カミハセイ

。松山燒カミハセイ

。我自のまつらをみて。朝はやまきまそとよ

。れ夕在うてくよまひー。敵アサヒ。五

。おまのい。

。金田カミタニサレ

。釵カミハスルキ。以竹爲笄。是釵之始也。

。金。以竹爲笄。是釵之始也。

。金。以竹爲笄。是釵之始也。

。金。以竹爲笄。是釵之始也。

。金。以竹爲笄。是釵之始也。

。様ハシ。竹のー。

。禮記竹箭竹絲喪三年

。簷カイ。耳簷カイ。簷カイ。

。簷カイ。耳簷カイ。簷カイ。

。代帽カイ。故龜甲カイ。象牙カイ

。今被之。象牙カイ。

。樟カク。木のー。

。黃楊カク。木のー。

。つまー。兔のー。

。鹿のー。

。あやめのー。

。ときー。

。いのー。

。入。楚タク。入を楚して女

。入を楚して女

○櫻 檉 いもる すの木ハ長

あをね木 スキニ なみ日 スル 伊須の一門

よしとよ ナケ 竹此。一の塗を引。玉櫻る

うまハ久のき。玉櫻首。玉匣

玉ハめまし。玉櫻首。玉匣

かげ呑 くまき上 と。巾箱

巾箱 ミタハコ おれ袋トモ
上手印

丸 檉 つま 五郎の檉

五郎の檉 カミナリ のまきら
よもくの紙をひいてくをつくるをあち
みきて退く冒カミナリ めくら拂眼の様をみてむこう

○鷦鷯 カミナリ くし。竹のくし。一のそめ可

○桺 まろ 長 のぢり 本 もと 伎 い
さよ さよ 香 かほ 江 え 彩 いろ
さよ さよ え え 比目 ひも 袖 そで
二 二 と と き き 桃 もも 桃の糸 もものいと を 桃 もも
○一のくこく 五 桃香 ももか 桃 もも ちの糸 もものいと は は
○固をきぬる くにじ ちりけともる
左桺 さくわ 古き桺 ときさくわ 画 ゑ たの事 こと は は
く く い い う う い い ふ ふ

○**初**

モトユヒ

むすびつるんもほきことと
よときほのゆうけすハ原

○**緒元経**

ね牛をめぐらすあの段

○**中**

モト
いのま

引剥アシナフ

小川さきとよ

○**腰吟**

トニホフ

丈毛の筋曲経カタマリ

もと元経

○**弓影**

ひいもの

モト

日扶統天皇六年五月
月沙門觀成始て作

まろと

ちよ

に和ば川ハ姫めくと、ソラ女元
弓影アシナフハほづるくまくら

ふ形アシナフ

一めう

二とく一素アシナフ

白シロ
像

○**き**

ハおうい上アシナフ

かけアシナフ

眉アシナフ

○**左ん立**

オシヤイ

立アシナフ

うへひす

れうて白アシナフ

○**枝押**

オシヤリ

立アシナフ

うへひす

うへひすをけアシナフ

○**あそび**

ミツハシリ

上アシナフ

けしゃしてあそつけわアシナフをすす

毛アシナフをたうちり眉アシナフとよ

○**不んやり**

ヨコハシリ

上アシナフ

うへひすとよもをそそぎ

○**まはづ**

ミロハフテ

上アシナフ

うへひす

眉アシナフをそそぎアシナフもゆ、肩アシナフあれの段

○**更篠筆**

アシナフ

きーのおよび

うれもゆ、肩アシナフあれの段

○薙茎ハスミ○すきハ麻壳コニワミの○小嵐アラシ
紅茶ホウチャ

ゆそくをこまのみヨドカマり

茶葉チャエイ

○わ○燕脂ホヘニ○的口ヘヨ

一枝口ヒヨウ

一枝口ヒヨウ

一枝口ヒヨウ

○油白ホウ○白ホウ

松白ホウ

○油ホウ○白ホウ

松白ホウ

○芥子ハナシロ○涙カズ○涙カズ

○芥子ハナシロ○涙カズ

芥子ハナシロ○涙カズ

○芥子ハナシロ○涙カズ

芥子ハナシロ○涙カズ

○油綿オフタワタカタ○脂絲ハ

○油綿オフタワタカタ○脂絲ハ

○油綿オフタワタカタ○脂絲ハ

○油綿オフタワタカタ○脂絲ハ

○油綿オフタワタカタ○脂絲ハ

付眉ハナシロをくろめりと油をひく用ハシメテトテ
○枝節ハシケロ○涙カズ○涙カズ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○ふーの粉ハシケロ○角ハナシロ○角ハナシロ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○棉ハシケロ○匣ハシケロ○挿ハシケロ○挿ハシケロ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○油蜜オフルツキ○楊枝ヤクシ○楊枝ヤクシ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○苏氣ハシケロ○眉化粧ハシケロ○不そ枝ハシケロ○塗桶ハシケロ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○苏氣ハシケロ○眉化粧ハシケロ○不そ枝ハシケロ○塗桶ハシケロ

一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ一枝节ハシケロ

○待合

原のハ言
十日以

○亭合

天徳四年承暦月
承暦二年兼合

革合

合

○貝合

貝箱

○亭貝

接松

引取合

引合

○虫え合

蟲合

虫合

虫合

○虫え合

虫合

虫合

○墓

双六

○篇窓

篇窓

○虫え合

虫え合

○虫え合

虫え合

○韵塞

古アリイ候あらけの名字一字アラクイ
おきいつれのまとつりあう

○文字

王
シノサ
セ音の体アリトウの候のアドモカ
シムルウチイリ

タマフク余勅之の原氏のモクレテヤキキハシミ
キエ相つわよよもスヘトスアハリホシキヨ
ラクキヤヤキムヒタのタクハリハヌのモコトヨ
ルトクアリシヒキヌホシヨシ
ラクキヤヤキムヒタのタクハリハヌのモコトヨ
ルトクアリシヒキヌホシヨシ
彈基立羅姐今閑中婦人女子尚有彈

○彈基

子之鼓似闡基畧

豆白石六ツお二人向合て **國** にアの豆もける
壁の隅ユ石立持て彈薙

○云扇合

柿 七月廿九日女達にて行ふ事

捨あき

一ノ子手 くまのー クロホー ー

女 |

国 | 五子のー 一ノ子をみかづ

○透扇

透扇 まめうて ○ 祖 | 五子

楊う

三子も女性の花と又楊枝のばめや

羽子つく

スミツク ダリスコ

○翠の筆

こと 一ノ子

松のー

トツク 一ノ子

初のー

トツク 一ノ子

翠の筆

こと 一ノ子

玉のー

トツク 一ノ子

玉のー

トツク 一ノ子

玉のー

トツク 一ノ子

玉のー

トツク 一ノ子

- 薺王 ツバキノミコト ツバキノミコト 平調あこまをみりつとよめ
エハセミタニトモセハモアヒトヒクフトモ俊安
は采ハ女里モエアツル山名のえヌハアヘハ晋の王侯
太良とアホエヨ蓮を極てモモサケのあく
- 杏 エドヒガン エドヒガン 江乃利 エドヒガン エ
歴のあふく 女のきの波うさイリ
- 玉 タマ タマ 女のうきり
- 十種杏 トスウエドヒガン 玉繁 タマハラ 立美 タマミ
名不 ナムフ 三夕 ミタカ 吳越 ウツツクシ 駿輪 スンルン
百和 ヒサハ 蘭鶴 ランク 住吉 スミヨシ 反魂 ハンモン

- 薺熟 タキバタ タキバタ たき巴の タキバタノ 四季草 ヨクシソウ ヨクシソウ 桃の モモノ
薺夜 タキバタ タキバタ 人 ヒト 名 メイ 桃 モモ
- 心字香 シンジカウ シンジカウ 心字の桂 シンジカウ の桂 カウ 竹中 タケナウ
衣被香 エヒカウ エヒカウ 衣被の桂 エヒカウ の桂 カウ あくよしもにきぬ
アカ アカ か カ たき多弓 タキタカ きのま キノマ 先左昂 センザウ
- 一粒もきくはぬ イチリモキクハヌ ○薺馨 タキブク ○あ世香 アセカウ ○掛香 カクカウ
モコウユアヘ モコウユアヘ ○薺馨 タキブク ○あ世香 アセカウ ○掛香 カクカウ
モコウユアヘ モコウユアヘ ○加 カ 雅 ヤ ○亭南 テイナン ○西 キ

。ま、歌題。ま歌聲。羅。太泥
たきもの まとア 一とく
トとく 一こうき 一もる
一とく 一こうき 一もる
一とく 一こうき 一もる

。秀。秀。秀。秀。
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ

。卓。鍔。卓。鍔。
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ

。舟。舟。舟。舟。
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ

。舟。舟。舟。舟。
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ
カウ カウ カウ カウ

新編

不二の種

不二の種

不二の種

不二の種

新編

右木

右木

右木

右木

新編

左木

左木

左木

左木

新編

卷之三

えりくろ
らは
れは
中絶

に廣
久しき
ふいと

あ
中門
あ
扇鱗

う
山鱗
あ
山鱗

十種香

ち子

蒸烹

逍遙

三香堂

紅流

古本

中川

法苑

桔擣

ハハ

夕月

香草

日紅丸

五以

夕月

香草

太白

古本

中川

法苑

玄川

ちみ

夕月

香草

三香堂

蒸烹

逍遙

法苑

紅流

古本

中川

法苑

桔擣

ハハ

夕月

香草

太白

古本

中川

法苑

玄川

ちみ

夕月

香草

太白

古本

中川

法苑

桔擣

ハハ

夕月

香草

太白

古本

中川

法苑

玄川

ちみ

夕月

香草

太白

古本

中川

法苑

三香堂

蒸烹

逍遙

法苑

不二
立辟神
不二のリテ
玉葉
杜み
るの鳥
木ト生
山陰
林重
紫山
山重
立田
山重
あや免
くろそ
芋の花
ゑ、ノ
ね、ノ
牛豆
玉本
搞
古
松
くも云
みはる
まがき
夕
幽
十九
ハチ
初厂
ハチ
走庵
ハチ
形
嘉
二
ト
花
渢

山
夕

葛

神杖

通

京極乃辯不翁

鬼山

通

久
行
舟
舟
行
舟

御
宿
宿

ハウス

久
行
舟
舟
行
舟

御
宿
宿

ハウス

久
行
舟
舟
行
舟

御
宿
宿

ハウス

芳杜を走れ。春の山村
源氏物語
第三回
山の上を駆け上る馬の音
山の上を駆け上る馬の音

移丹麻葵面初就房中六桂晚风竹
川船游捉弄小舟月明照花繁乐系

月をさく
扇あめ月
抄うら月
隆うら月
松まつ月
かきまつ月
安月
長月
筍すき月
まつまつ月
延まつ月
柳まつ月
時まつ月

小苗は林寄秦
柳有葉うり
よめの木す
柳枝引ひ
花房夕日
林故語カメラト

夕林有り木稀に立經一處花湖曉れを
雪松

五更游仙社猶將曉天秀山理稻休
茅庵以冷山空極月極相田

古美
村林秋
型江
菜葉
小田さ
喜多
麻呂
又久
聖
吉
久
之

卷之二

七

空の梅

松葉

あまき

けいりん

片桑

桑葉を絞

梅下

まきの戸

庵
いえり

梅下

山さく

山下

梅花達

月の雲

十種秀進加

室城す
舟玉

金理

波介

赤旗櫻

太西三桑赤拂秀く日孫を月花集東
志耶宗信行守するねう

太校院芳桂正

かこちゆ家三十一般日孫をや不
名秀日孫あり 金ノ舞葉に毛々 囲葉

金

ヒヂキ

約臂

ヒヂキニキ

和名

劍

比知萬岐の付

ス

利の輪

五

金

ヒヂキ

約臂

ヒヂキニキ

ス

此の川

一

仕す

挡

ヒヂキ

ス

みちのく

旅

波

まゆ

木

ス

波

むきの波

色

色

ス

○
た
洋

洋をたてにかくらしとあるうえ
女性のそよハモキものと

○
お色金

利刀。あをひそ外刀しへんの
モテタレ 刃をひそ法とうわし

○
槍の斧

槍の斧。うち法の事。モヒツル
モヒツル オヒ

○
毛刀

毛刀。鷲毛刀。毛を房と古ま時の
カモモ

○
厨子

厨子

○
衣櫛

衣櫛。ミモリケ

○
いたぐ楠

いたぐ楠。すくて田舎の女ひよやど
かわらけの木をいたぐき女ひよやど

○
白木

白木。あまのめれきぬ木。あもし又木つる

○
稻禾

稻禾。あわの穀とも稲とも木。あわの穀をいわす

○
蠅のち宮

蠅のち宮。虫のち宮。虫のち宮

○
機

機。はく。五石の机。五石の机

○
の卯

の卯。一あ。一のま。一のま

○これえ。あやえ おみす。○纖反。○經

○緯

○蔑

○役寇柵

○機磧

○まねき

○梭杼

○鶴飼

○角

○雀

○横

○茅子

○簑

○曉

○巣

○竹

○一

○縛糸

○絆

○従

○徑

○車

○一

○縄

○繩

○繩

○糸

○車

○一

○縫綻

○縫綻

○縫綻

○縫綻

○車

○一

○**くそー** あ女也 **をフ** **はえき**

とやせんやきの
本のトホハムヨ

○**すまわう** **伊勢編** **ふせあもー**

○**笠** ね **三** **よそむひる** **日傘** **かさのうち**

袖 ひぢ 二 ひづ

を ひづ

あく 一 きぬ 一 まき 一 いざ

こつけの 一 す 一 ほ

おゑ 一 まき 一 いざ

れ合 一 いざ 一 いざ

○**車** イトケ **絲毛車**

職刺 ヨ内親王 内令呼
文衣以上の車く

○**毛** メ **上** **翠車** テクル

太臣 老者 女侍 文衣
るとの車と年のいをも毛を

きてり車と圍てくるまのヤド
きくまに通するもくまやゑよりそくそくそく

○**櫛毛** アラケ **一** ひへらやーのあこぐ **内所**

ひへらやーのあこぐ
ひへらやーのあこぐ

○**個代** アカシ **一** ひへらやーの
車と毛

時ハ男毛 ヒトタニヒトキ

○**副** リム **一**

女車も眼 僕の女房の事と

○**人** ヒトタニヒトキ **一** ひトタニヒトキ

○**車の廻** エモの **一** カミヒ **一** カミヒ

日ナタレ

あよ。一の下すき。七車。ちうし。

立のまきハ車せ恵よつもとなまくとく
刻きの力車は七手まつて立く材ひく
ルキギ。チャリ立タマハシよこさんを立て芦
よ者を立く立く立く立く

○櫻川眼。事。一。着。一。女房初とき
えきてきちやうとさけしたけ快とて、白雲。トハリ
かくカヘルロ。初ハコの歌スイ。

○強代。強白。多。古毛。一。重モよけ
た。歌カヘシ。少モ二。給タマハシめいひすみの歌ハセニ。

○万葉文集。二代集。古アラタハ。後機。

拾遣。

三代集。は拾遣。

合集。

合集。

合集。

○八代集。三代集。は拾遣。

千載。

古今。

古今。

古今。

玉葉。後千載。後は拾遣。

千載。

古今。

古今。

○十三代集。後古今。物語櫻。後は機。

後古今。

物語櫻。

後古今。

原文拾遺。ありふ。

ありふ。

ありふ。

ありふ。

○原文拾遺。ありふ。

ありふ。

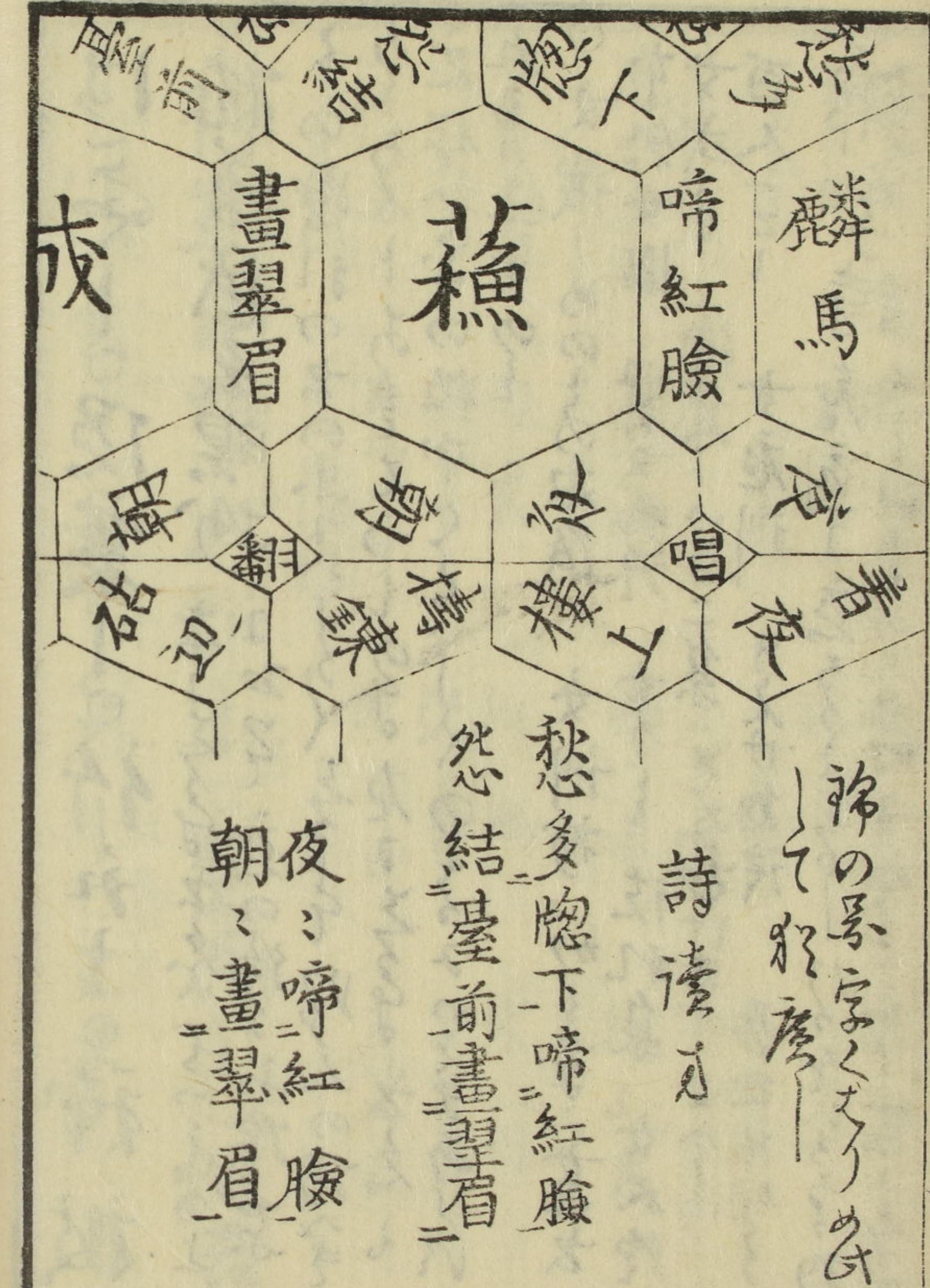
ありふ。

ありふ。

○経合
おは
舟を
船員
こゑふ
○和久
とこう
くわゆ
○あそま
あそま
まきほ
○拍本
拍本
まくほ
○拍子
拍子
まくし
○白え
白え
まくえ
○あつま
あつま
まくま
○船角
船角
まくか
○川
川
まく川
○源
源
まく源
○うけろよ
うけろよ
まくけろよ
○伊勢
伊勢
まく伊勢
○勢
勢
まく勢
○大和
大和
まく大和
○和
和
まく和
○葉元
葉元
まく葉元
○住吉
住吉
まく住吉
○清風
清風
まく清風
○おちく不
おちく不
まくおちく不
○こまの
こまの
まくこまの
○一
一
まく一

○はこやー。乃義ー。竹丸ー。神波
○枕着め城主眼抄
○おもてのまくすおなはとくの上
この勝利の虫の末よハトツトトキアシテゆる人のおへき
タタキアシテおきえつしの手たよそよおなじ
えほひあねやくくーーのまよひとまわに
九牛二毛のま
○女誠めのとの双氏
本於女彌 賢女ね津 女うみ 法礼集 女ふれ
女式日 錦本 いふニ集 えむむけ幸 女今川
百人一首 女庭訓 さくわね津 あねかく
○錦字詩 きくれ 立うらとまく ひるをいううわ
そと仕方衣の人のみと冠すとおなまき

修字曰文の詩ハ晋の竇滔の妻の賦で天子ヲ獻す。抱うて女帝の内侍。よしを戒諭。セ言ハ句又立言へ。白詩句によく。詩もよろづ。詩のんハ詩。意の句。しを修字のナユーツを思ひ。そぞらむ。



買色

○傾城。傾玉。漢書李延年哥北方有
顧傾入國。
○僂僂。挾發。楊氏云晝遊行謂之
奔。謂之夜發。其部。女迎。あるを
托。女といひ。宿。よみをくつとす。
まよ井のむらうそと。スギ。ゆりのきよべと
うき川牛。子。うきの。よのれの女
うきの。まの。うきの。うきの。

一挾書。志のひ書。たはき女。さぶ
るこ。仮の笑。うき森。ふ室て通ふ
うかれつま。あそび。一。度。一。老
あまの子。けま室め。わやうそをも
辻更立。立。昔。今よりの。おもへと
の内。お立。今。のよく。おもへと。立。立。司。房の
ハ。え。あまさか。立。立。の。ふ。あ。う。の。月。ひ。と。も
は。え。お。く。山。お。り。や。う。づ。ま。ふ。う。き。う。つ。の
ま。の。月。そ。と。う。せ。き。う。一。あ。ま。う。う。

○白女。白人。さうめと。みはた女のあをす
ヨウエと又ふせんのれぬよ。ハテ一抱女白女
今白人とよしはほり。

かく

○弘忌。涉書舟。えりくわく

う画く。墨もつま。自相手の墨ハ英一様
をひきねああ。○をとり子。りつと。白石
りくえこをひき。ワツミロト。○右主。いづ。能を
奴女を禁をうそとひきをさう。○左主。いづ。能を
ひきをま。○梅藻。ハイキヤ。今をま。○散藻。サ
カイジン。今をま。○散藻。サ

え藻。下をつるく。まよきんちやとてはえをぬとまよ

○よね。村女の名も。向去。よりひとよはたれそつと中よ
うる四字。みる。をそむひとよきとく

○室主。天職。天神。弘。羽渡

ガブロ

ニムシテ

サモ

一

考

一

考

一

○おやま。妓。娼。女うれ

婦也

格子

一

一

○夢女。おもやき。敏度。ひゆく

バイタ

二

考

一

考

一

考

一

○ねぬ。勤の女。毎日。薄籍。才上り
才を泥々。苦界。仁教の名。丸も

は」つむ。身を賣る。走る。セイ

○廉恵 カコヒ 以 ハ。まうも。花車。仲良

○梳櫳 ミツアメ 破盆。上頭。封幕間。牽頭

○席子 シキス 破盆。上頭。封幕間。牽頭

○地獄 ジヨク 余州 ヨウス 二体をも。辛よ。抱き

○お察 リヤウ びくよの功績へ
りやくをも。おぞまし

○お離 リモ 今下をも。おも

ちえりのまなま。

○水達 スイダツ 脱籍。てきん

○全盛 ゼンセイ 都知。精婆。すき

○召來。大臣 ヒリヂ をまとひま。身打。筋打

○毛社。狂妙。毛とが。あの豆を

く。足立。首立。居つも。狂妙

○暁牢。初令。訓際。うき世組

○おげん。るま。そめき。驕強カマ
きのそめき。とふしや。○おこやきナラ。傍シタ
の茶カのみロコ。口ムよ全ミツ扶スをあス。
の後アフのよアフとロコ。玄ケン傍シタ
のよアフ。夏ハきえスルハ去ス。着ツ経ラ也ハシ。ゆシの
入りアリつらシねルをわル。曲キウ折チヨウて行ハシ。廻ハシ男キウ牛ハシ
ひくヒクとくトク。すがスガ。かカき。今アキの
今アキのものモノもおアリ。四シテ轍ツバ四シテ
をアリ。附アリのを轍ツバ。四シテ轍ツバ四シテ

○さシりうちシ傘シ。大臣シ。ちシはシ。
○難シ事シ。つきシ。如シもうシ。○射シ込シ
○念シ者シ。望シ良シ。みシ山シ。○辛シ疾シ
○妓シ老シ。法シ寫シ。草シ薙シ。○寺シ子シ。他シを
○如シ歌シ。よシたシ。○廓シ。花シ街シ。色シ
○村シ女シ町シ。宿シの里シ。花シ庵シ。○金シを
おシ。○志シ八シ。忠シ孝シ。弟シ忠シ信シ礼シ。○廻シ所シ

○人也。楊菴。糸庵。編笠。一乘庵
○三あどん。ひよく甚庵。まさかき。移すも
○鴻源。上の町。オの町。オ堂。所。西口。北
移すも。○出口。又口の町。移すも。御
移すも。○出ロ。又口の町。糸庵。糸庵
○ぬ口。さうハ植。れぬる傷。れぬる
○御。移すも。はめの巻。巻。一
○たそや行徳。三輪町。たすく屋

○小向。越里町。宮川町。六は庄
○古原。楊庵町。京町。佐見町
○古原。楊庵町。角町。仲の町
○お町。吉免。大門。日本堤。三十石
○牧野。柳暖室。柳の暖室と云ふ。モレ
下人の住處すとも。やうのあらう。柳下の。よ
似。れ。ハモリ。柳を。モリ。と。モレ。柳の。交
う。○袖の梅。正徳の。俄。柳。糸。糸
う。○去。去。去。去。去。去。去。去。去。去。
去。去。去。去。去。去。去。去。去。去。去。

○山谷私○三挺立

玉山と

泥町

田丁

よ休て足手はひに停る
つうらうをそろそろとす。足あひひよ一株ニ
やんをれてうなへ西ひの足あよ。丹は廢あ
あるを足あふ男と云う
○丹あ流。一筋
風呂毛ト付陽女こゝもの
きえゆひだらうとそぞれのれハ丹あ流とてモ此
は御せと勝山とつるをきれ女もえハ丹は廢あ
ふあ。白鷺シラガラク組コトブキ同くそれうなへ西ひよそ
ゆゑ。白鷺組コトブキもきすやあき袖くちすくて毛
と白きわのとすするる。よまとく自さや頭も毛
のうづきりねを東のすハ。 大金あよくハアキ

するれそ思ふ今下本の大金ハ一無關本とえ
○新町ヒヤマチひやまて人丁若原丁京格丁新宿丁
にはれ新丁アヨハカ佐波原丁アヨハカ越原丁
月新アヨハカ月アヨハカちねやの正月のすと月一ツ
新アヨハカ新アヨハカもと一金二五を名とす

○新町 諸府二丁町へ

○古事記合本アヨハカのてくらの地名アヨハカと
理上アヨハカ青塚アヨハカ曉アヨハカ山江アヨハカ阿萬アヨハカ
少佐の家原アヨハカ理所アヨハカ小食山麓アヨハカ
大井川アヨハカ山城をつとの里アヨハカ未アヨハカかやつの原尾アヨハカ

矣川 内 まゆ師 イ 檜本 江口 海接
神禰 月 送 内 畏雲深 口山
木过 吉东 室 月
乳山 長 サツイ ムロ
柳町 あらわ てりハ
熟園 夏のト あらわ てりハ
家積 月 はなわ トモ
蟹海 月 ノミコチ卫
新屋 月
吉浦川 加 月
化粧板 月

立戒 紀伊 来 夏丸 田中大
樟木町 佐良 旗鼓 木見 佐野 田中
太虎 虎氣 中者 三

神祇

ノハナ土

- 五所の神 神社考ス不の神ハ男女の中を
さうりゆ^リ利をもとす
- 立輪の神 大和 神るよハ住居の人ありて行
立輪山
- 三室山 三法山
- 神南嶺山 いづれも三輪の名を 云旨
- 志矛の神 道と云ふ者も此の山也
三室山
- そ布称岐神 巖九月九日 宇治の橋頭
志矛山をもりへて下り泉

- 式紙モリ 嫦クニの乳人の者をアキラヒト
きよひなま | 山一イチの里 | 脚一イチ行
- 鉄カタ涌ワカウ。その内スル糸ソト。釘ツバメ打タマリ。生成タマリ鬼タマリ
- ろく面ロクマツの。挫ハシ涌ハシ。ホトコ。
- 翁根權カレツ現カマツ。
- アレカタ 柄ハシ神カミ。カタ。
- アレカタ 柄ハシ神カミ。

ち女ハ娶うちもちよかまつれ眞ん喫 固クス一男
○玉津彦神 紀州 和彦 庫允恭天皇の
主て我サこの子よもよ以上みふのち神とヤ
○葛城の神 大和 みなくき貞 挑のちきく オたゆ
鬼は 一言主 条東河の鴨

○阿麻羽宮 下總○小は束さす 小束さすて
今きよのもうきめやつらあをきあまハの神よは束さす
○佐伎草の神 云後アマシ 佐伎の後よくア
○筑二ノ糸をひ 筑二四月形 女の男持アマシ 組
不と去そとるそつうりき

ウミノ御みつまのあくせうんえまきのさくの取えん拵
○卯坂神社 越中○尾寺の糸○卯坂の杖
糸四月形 女の男持アマシ 組不と神主アマシ 神もておとひ
ハシアマシ ユハ女アマシ 神互アマシ をおとひつこまかよねふく
○からいのみアマシ 佐伎翁アマシ はは神よそしき又アマシ ひ
よおとへそよきよあ含めアマシ そちのとくアマシ てまつくる
○あみききの神 男女の手アマシ とさまくく神し
後アマシ を毛アマシ てゑきアマシ 和合アマシ すと
○針女社 系アマシ は神 女神アマシ そとゑく立めアマシ すと
○神萱翁アマシ の糸 伊勢尾上山アマシ ひちよあう糸
正月八日十二月八日ゑひを日

衣食の神主事。男女はうちのどちらを多く年
指の男女是を捨てて男子女子をもるるよりとす
○**雜魚森** 子 海が大至く多くそのお鰐より男女
あり女どもは一祝ハ神のゆりゆつとす

○**柏を袖に包**

三葉柏 三角一 みの

伊勢大神を主として柏の木を捨て占すあり從焉く
御食やどの柏をもひて左をま袖よつてをそる
○**赤え** サイ クラ 帝の古源伊勢 イツキノミヤ ち御宮 仕一上り
○**赤院** サイ # 加美川赤
理宮社 サミ 伊勢く御主ふあよ城が海き
仰をええ御院をつく八月上
旬より秋入る日酉ハ月を毎とすして九月

上旬吉日をえみ川のそと
枝をそていたり御主よ シヨウ ミ ○**女房當** サマ ミ仕女
○**宇治の鶴姫** カモ うじ 衣ふ一ノ月のはひ
○**墨藻形** アヤ セ ミ 旗を後からを引ひハ柄松ニキ
○**る辟木をして祈** アモリ アモリ ミ 祈を新家其と祭ハ夕の慶め
○**あるべのみを看** カモリ カモリ ミ 拝其を南よ空が祭
○**取上げる** タヒス タヒス ○**神** カハヤ カハヤ シ ミ ミ
○**祀る** カハヤ カハヤ シ ミ ○**立** カハヤ カハヤ シ ミ ミ

○巫女歌。かくの雲。ぬるの雨。楚懷

王 池女をもとてちきりをもとす。あまの時。神女す。
いそくあくと、いさとううタコハ。ゐとうる。里

○庚申詔。ひきはやし。七夜詔。御前を付序

○詔ふの御。月下老人。紅緑をれでま
縁事の地名。未

○大和車。大嘗年。後皇后皇后異玉セ
いの時。す。い。吉例と。の席へ。詔

○諸河原。宇治の邊と天人の。アラマヤンヒ

席へ。詔

○大原神子。山城大原川神子。仕巫女。信濃巫

○長谷ち。大和泊門ち。長瀬。小舟。御上

○一川。おもりく。かくらく。もとこ。モリ

○は竹久。文経。トウ。日。大あせき。在木のまき

○妻芻す。鉢の山。かずか。血の池

○衣裳競。故の女。けいひねまつてす。そ

○三井さ。詔。七月十日。女人年詔。たまこと

○す。雄法苑會

二月十日女人

坐定集

蓋川の達年スあとこまきてのゆきをくひれく。女の
もみきううへとまるそめこの人のめもとてうとやううの王
生ね言スあとこままで)これスのおもうけうるくし
○七夕 五難姐スソシく後御階ハシ武丁ムヂ始て妾
嚴時ハシマシよえよしきのオニ列者のカモヒタおもんあら人の
用ハシマシつきるすあくひゆけせ和漢古ハシマシしげて七夕ハシマシをたるハシマシと
か集ハシマシもあまくとくはふん女事の傳ハシマシと口事ハシマシとす
コアくとあれハ富ハシマシのまつづる後ハシマシて七夕ハシマシをたるハシマシと
よみハシマシ女ハシマシ七夕ハシマシ男ハシマシ七夕ハシマシとよみひうともああれ
タナハタハシマシたまりとハ國ハシマシ女ハシマシのハシマシとて七夕ハシマシをたるハシマシ
○織女ハシマシとよむふ万葉ハシマシハヨ

カ

一年ヒト、ヤニ近ナヌカノヨノミアフヒト七夕耳相人タナハタノイヲハタ之ヒコホレトタナハタツイ牽牛ヒコホレトタナハタツイ織女

○柵機ス五百機ハシマシ片ハシマシくのと

天スの川ハシマシ羽ハシマシのゑハシマシふきくハシマシいそまくハシマシ星ス合ハシマシ

梶スの葉ハシマシ破ハシマシあくふハシマシかくきの浦ハシマシさそくぬハシマシくわふゆハシマシ袖スつくハシマシ身スのゑハシマシ立琴ハシマシまむくハシマシ身スのゑハシマシ巧真ハシマシと不つまハシマシもちえハシマシ乞巧真

乾坤

立の山アリノマツと名爲アリマツる山アリマツ

○立の山アリマツと名爲アリマツる山アリマツトおとづき山アリマツ
うらその山アリマツいもて山アリマツとすれすの山アリマツ
曉山アラミとこの山アラミ軽巖山アラミ遼坂山アラミ
のちせ山アラミ待アラミ山アラミ妹背山アラミ紀
めをの山アラミ未アラミの松山アラミえのねアラミ中のね
未アラミのねアラミ娘アラミとす

占アリ山アリマツ大袖振山アリマツからき山アリマツ立の山アリマツ
あつと山アリマツ宇アリマツほの山アリマツ立曾山アリマツ添山アリマツ
あ多川アリマツ井アリマツ井アリマツ山アリマツあ多川アリマツ井アリマツ川アリマツ
便川アリマツセ急れ川アリマツム思川アリマツ予持川アリマツ上アリマツ理
中川アリマツ原アリマツ意深川アリマツ左アリマツ見そめ川アリマツ筑アリマツ
あひそめ川アリマツ日アリマツ考アリマツ卷川アリマツナ又アリマツ列川アリマツ大
一ね川アリマツ子アリマツ川アリマツ急川アリマツ急占山アリマツ

密語格^{カヤキ}總施格^{タタケム}扇格^{スカタ}形格

義^{ツキ}後格^{サト}くろべきのあれ^樹もつじ

作^{シテ}のあれ山^{アリ}あひごのあれ大いそごのあれ^{セイ}セイ
のあれ山^{アリ}あひごのあれ大いそごのあれ^{セイ}セイ
のあれ山^{アリ}あひごのあれ山^{アリ}あひごのあれ^{セイ}
袁^{アレジン}山^カえ立支^イのあれ山^{アリ}あひごのあれ
左^{シテ}のひの景^キ元^{ヒタチ}景^キ怪^{ハラハラ}の實^{ツム}
下泡^{アシ}の實^{ツム}るこそその實^{ツム}遠^{アリ}ぬの實^{ツム}

見るめの實^{ツム}へたての實^{ツム}國門司實^{ツム}
青人書^{シテ}の墨^{モク}信^{ヒトシ}あれの里^{アリ}定夏^{アリナウ}
里^{コ丹}あく一理^{モト}山^{モト}木^{モト}植^{モト}大善^{モト}理^{モト}
跡^ヒ眉^ヒ壁^ヒ伍^ヒ康^ヒの理^{モト}辺^{モト}山^{モト}更^{モト}深^{モト}
停^大え六^トの停^相人^ヒえの停^相と^{セイ}
我^ヲの因^{モト}まつ^ニ浮^ヒニ^{セイ}見^ヒ浦^{セイ}
見えぬめの庫^ヒちぬの庫^ヒ名立^ヒ浦^{セイ}

厚風庫と毛絃庫あり絃庫

紀但

敢足庫紀の漕庫イあひての庫尾
あふせの庫た夜の渡ハ時うきる紀

志のひ橋キ引出床橋尾宿橋

松風流橋ユ二見の乃ハカミ

候城橋松

處女塚日男塚女塚山小町塚日

李相の墓塚日盛遠書こう佐理の

母捨上をむ一田畠女アシタ父母アシタ也のトテ
ま帰とう画ひ一によくめると
ソリと通すの捨れそ
ありきさート因アシタ右夜捨かのゑの
ナリあり便アシタ。説よみ。述アシタしの

○家アシタのハ行下アシタサウヰスアシタ家のハ行とよ
りえきも家のハ行の下アシタモ行立アシタまくも立アシタまく
望中アシタの度アシタ行アシタきめらアシタなむアシタ未の世アシタめ
うめれとすアシタとくも行アシタ立アシタて居アシタりと
アシタやかの度アシタとハえの事アシタをつとつアシタと
我アシタもよアシタはくやるアシタめとんアシタかの志アシタ望アシタきぼれと

○虎うゑ五月廿八日。虎うゑ。呂丈石故

○三山

大畠大山男伴耳成山男伴香山女伴
首かく山の女神をうねひみそりの男神

とまあるまちあらじり可口よもよく
くべゆ代もく妻あらまひをうへ今世ハむ

○内育ナキウ

内竹ふのあらまき
女ふ生をなすふ

○女被タマ

上房

○射のゑヤ。二の町。

○書家ツバニヤ

つまを遠る
あく

○鐵扇。

○鐵扇。

○他家タメ

ふく月のそり
の内みづほあく

○長押

鶴

長の鶴の内みづほあく
あくとすほう

○中翁。元田男治紀和亭の浦エ空

○死翁。參カタシ

滷辛半魚カタラナミ
半魚半參半魚

ハテヨスヒ

○死翁參カタシハタシモニ參ハメヘキ

死翁參めを、まくうてれくるひ人を一ツを詰
きとも詰めて死ぬよれを正ちとよ正ハれかく
うの。を一の食氣。一のひとりぬ。一

○釩及

芳苑よゑの女を立市立きと内家の男を
て立よたはされハ帝のみ男をそく貞の波
をもきて井の舟よそづきをぬ女を立おむくと女又
を井の舟へ船へ死り帝を井の舟とそく立く
二人の恋ハスうてを一の字ニ相あく帝みらへた
まく内をえきの波の内より舟をか一帝の首を

切々。入る。躰^ニ虎^ト。虎^トるよりあれハ人のまゆ^ト
たとく。

○に不^トの二人並^ヒ。白^ニ多^シ。お^ト路^ヲの夜^ニ
すく^シ自^ト。○羽雀^{ヤニトリ}雉^チの境^ヲ。雉^チの境^ヲ
女^トりひあて
ひとりくみほきくに近^ト。是^ハ御宇^ム山^キの峰^モ。門^モ一^モ。宿^モはあま
たの女^ト。よけきり^セとて。人^を居^マと伝^レ
り。いある女^ト。後^モを^シよ^セ。我^新のうつる
を^シまきのあ^フ。人と^見つけ^テ。又^シふ^ケま^サ
はうきの^シをへた^テ。ね^ルをうれ^ハをくきの^度を
お^上てぬく^ト。足^ハめんきの^度。ふの^度を
をろの^度と^シふ^ト。○きト^のお^せひ^相

○る^シか^モ。そ^シ。る^シひ住^ム。

二人の女^トたまる。元^シ鶴^ト。鶴^トの床^ト。

其^ノ日^ノ晝^ト

○鶴^トの草^茎。立^トと仰^シよ^シの^度。あれハ立^ト
立^トま^リ。あれハももみくさくさ^トき^トもと^ト。これ^見
やう^シあう^シを故^シ。袖^{アシ}。昔^田男^サ行^ス女^ト
よ^シひて女の^衣を写^ス。よ^シのみ^ト。草^茎と^シ
う^シて。神^カいの草^茎の^度。あ^リて。今^シを
男^ハこうう^シの^度。お^のぬへき^ト。ちき^トあり^シ。ひのま^チ
女^トあ^リ。一^カう^シて。を^ト。一^カま^ス。下^トよ^シて
と^シて。絶^日極^度む^シく^シ。○鶴^トの抱根^抱養^シ

あ。縞負賛を。あすみをいふれふせき。
まとうまき。つるく後ツルク。鰯燒ヤウ。このふろく
は寄よよて鰯燒ヤウ。芳女アガミ。まよおれ。まのをうれへま。あすみをいれ元
たりとおをりて被ハシマ。このそろとふ魚を入せ。ま
まよおれ。火幕ヒマツ。まよは魚人。後白ハタケシロ。火
まよまとよの女アガミ。とおりひのひ。

○さあづく約アツク。くわうすす時ハタス。あくべ
約アツクのつまらくとつす

○火氣ヒカリのは衣。蒸ヒヤウの中の子安圓

サカヒヤウケタリ まよ

○達葉タマリの玉タマの枝

タマリのあとお再び

く。あへ」とろんをりひてゆ。○婦ヒメ。姫ヒメ。松マツ
あひ后アフタ八月十五ハジイ。天上アツマ。里アシカ。○あこやの松。○古代の松。○皇子
むやんを。○ねのねをむすり。ちひせ。○すう。○こうて。○す。○を。○ほ。○ち。○ひ。○そ。○そ。○す。○か
か。○ま。○の。○え。○ひ。○き。○法。○ま。○く。○あ。○そ。○又。○か。○う。○ん。○て。○そ。○の。○せ。○す。○ひ。○き。○法。○ま。○く。○あ。○そ。○又
む。○か。○う。○ん。○て。○そ。○の。○せ。○す。○ひ。○き。○法。○ま。○く。○あ。○そ。○又
ともじよひて。○う。○も。○白。○と。○よ。○白。○と。○よ。

○毛モ。北坐ヒツヅ。裁サシ。葦アシ。艸アシ。能ノウ。忘ワタフ。憂ウ。毛モ。下シテ。

付れとをにのそとま。○鬼の醜女コノクガ。○
ことすりありルれ。○
わよすれやぬまくさきるやあんんへ枝てるへ
まうすくこすれんとすれとほえぬめとすれときと
ひすれまよの。○蝶よ仰るすま。○山へく
故ゆき男

○女郎花をそこへーは。花白ニロハ女のすよを
りとて立たつる女の嫁よ。生ひわら。村外のがす
○はふむす。むすの名な。家いえを
たくつく。又は根ねを除のく。色いろをよくそく
○はのゆう。はのすり衣あけを。○
はのすり衣あけを。

○眼雀トコナツ。○女のゑま。○
眼雀トコナツ。白しろ。似にむと。○燕カキ。子こ。翁おき。女をかきつみ
○書ツ。玄こゑ。○
○男コトコラニチ。女の花はな。核核。

○鬼灯ホ、ツキ。○山さん。茨アシ。荒あら。女の数く。原はら。○兒こ。女の類たぐい。
○翁おき。○翁おき。○山さん。茨アシ。荒あら。女の数く。原はら。○兒こ。女の類たぐい。
○翁おき。○翁おき。○山さん。茨アシ。荒あら。女の数く。原はら。○兒こ。女の類たぐい。
○翁おき。○翁おき。○山さん。茨アシ。荒あら。女の数く。原はら。○兒こ。女の類たぐい。
○翁おき。○翁おき。○山さん。茨アシ。荒あら。女の数く。原はら。○兒こ。女の類たぐい。

○夏月44日。林をする。あづまをく

○月44。鷺ノスミ。すすす。皆一郎

五日までの

アム。あくのけめへき立とをあくとハ今並
ゆ。序。すとあくつり。あきねえ。月をの
つ。ト。川芋。モカツ。梨子の花。梅。を教ふ。
と。川芋。モカツ。梨子の花。梅。を教ふ。
川芋。モカツ。梨子の花。梅。を教ふ。

女44。いそぬを。昔。山。て。男女
故。よ。思44。あ。あつひ。す。か。こ。ち
を。

キ。ヨリ。ひ。く。西。人。の。上。う。き。ひ
も。あ。よ。そ。ほ。う。

○まきり孝子。孝。おひ。ひ。る。44。ま
う。後。の。44。袖。玉。い。そ。の。き。を。立。き
立。き。う。り。て。あ。れ。う。く。く。く。ハ。甲。ハ。と。あ。れ。れ
は。く。れ。め。も。う。れ。く。く。く。玉。立。き。人。の。た。ま。う。ま
う。く。れ。め。も。う。れ。く。く。く。玉。立。き。人。の。た。ま。う。ま
う。と。と。百。と。不。可。い。う。め。い。そ。の。き。う。ま
み。く。く。う。く。ふ。よ。お。わ。み
う。れ。ま。き。鏡。44。お。む。う。り。そ。れ。ひ。う。ま
と。つ。う。と。う。あ。よ。は。奇。奇。芳。大。和。の。ふ。る。う
う。と。う。あ。よ。男。あ。山。海。の。井。水。女。ユ。風
水。の。ふ。は。う。め。を。歌。そ。う。そ。う。ひ。う。ハ。く。く。う。

せうとつと今よりはへあすすうきうきうき
を引かまへとよそまきの下よもじのま
けふく山生あくをそこ氣よおむひてあ
はゆ馬うろきしよもものれ又ねうや
草生あくを所は男もてへ他のらあうとて
さむれりうとよ おもしきまのめすを身是を奪す
○名和子 牡丹こむりある女は筋を毫
にすあくとめりひくをすうして男の心
あくとてりをんじきまなこうきとてひ
きてえのくほりとさんわんのふうをや
みとくとくそもむけにこうもくう
○駕牛 つら別くよせさんとまへ とら
ユクひきたれハモのうすむ

○修ひとくをす。もしろかづ薦と女兄
おをよ
○室あくづ。絡石石籠石皴花ハ
室あく式子内殿主よ
○七義の南天 時人後の下よおめハ
お怪のからぬ時も天を見え
て身をそひ見る事も今俗傳すさざん
みの身よくらみとつもあ天の御能みへあ
羅柄とれりて難を門せらひとおおえ
○苦のゆ 海をゆ。○駕牛 いとく
いとく義と義と義と

○五あるものありまうるるくけの
○なよ竹。なよ竹。女竹とては竹と云
ふうやううる竹よなよなよけりやひき川竹とよも見
○あく竹。皇女英。タヌ白の省園
○本橘花^{ハナダツカヒナ}。皇女英。安西
○え葉^{エハナ}。御番。むすめを志の海^イ
○あ葉^{アハナ}。まんの叶^カ。利多花^{リタハナ}。慈王帝

○嫁の柏^{嫁モロハ苔モトツシテアリモヒ}
○ひめはしめ^{晋書}。山中支^{ヨシマツ}。食貨盈王日記餉^{アサシ}。送今佐^{ヨス}。ま帰^{マヘ}。交接の事^{シテ}。又^{アリ}。女^ハ。嫁^ハ。女の衣^ハ。ゆひ^ハ。りり^ハ。とつ^ハ。従^ハ。
○かのね^ハ。西月十^ハ。枝^ハ。木^ハ。花^ハ。兔^ハ。を^ハ。画^ハ。女^ハ。
○月兎の祝^ハ。六月十^ハ。スナム。ナシオの女子^ヲ。袖^ハ。の^ハ。そ^ハ。そ^ハ。た^ハ。ひ^ハ。い^ハ。を^ハ。す^ハ。す^ハ。そ^ハ。月^ハ。そ^ハ。お^ハ。お^ハ。あ^ハ。そ^ハ。

○集 摘

ふくふくうかとゆきをすは字次う
れ、おはいわばあまみねと女の蒙る
醜、鬼灯の影おもくひらへ、おほゆうすく
むら修ようて、おもも葉すうるへー、おもの室に
むふの師ようと、夕ひめをきのきわ也

立 繫 組

嘗てす書やよとせやあ
新つともものゆへどよこし
志うとみるすきん心元視刀
琴を絃げんやをくとく、
やまとく生なまく心をへ、
はく、
つるわくよとく、
かく

すきらやくやまゆゑも
吹きとあつてゆふよぬそ
おきとよむじ人のゆれり
なほ
はるかにまもるも
まくまくまくまくまく
中庵完東

のいの内をうるにゑてものさすりを
おきづくとよまほひの山とは、
さくせわらちほよの神よくよれ
みふのけむと神代よ
ねきよめの神のまよ
たひすくとせわんくと
かくえんもかくえんくと

人を代りて立たずの月先
うとほすむしめん
これ紀記あるよあ代の
瑞氣のとひがひく
うすせんじわねのとひ
もや。仰傳達あらへゆる
まよの式すくはてとい
アリタマリタマリタマリ

シテ山のあそび
まひ谷せかげらのま
ヨリカよこう人もあり
さへが久人乃みらしきふとてあ
推のまく乃まえある。お
トムにまくがまの
まくまくまくまくまく

うれしそうとくは
はまくらのまくらすあた
いきもんこひんはまくさき
しゆもんとあそくいてやうた
遠くよむをかううとひよくね
人やくらじよ

文化十三丙子

律雪庵

- 江戸本石町十軒店萬笈堂英大助藏版俳書目錄
- 類題之部
- 俳諧發句五百題 春秋庵白雄房撰 小本二冊
- 新五百題 田喜庵護物撰 中本二冊
- 名所千題集 全撰 全一冊
- 今人東風流 洞海舍涼谷撰 全三冊
- 十万句集 具庵一具撰 全二冊
- 故人五百題 松露庵撰 全四冊
- 續故人五百題 一具庵一具撰 小本二冊
- 續故人五百題 一具庵一具撰 全二冊

類聚 八桑園寥松撰 中本二冊

今人五百題

八雲東溟輯 涉壁千輅校

小本二冊

はおのたる人立る歌子多くひて家通音ソリコス不友くきかき名の花を四字
余海を集め當時流り一聲ふえ安づくかわせむをかへうらはれ利のまえ

類題

古今撰

燕庵齋守撰

全一冊

新類題

六合庵万里輯

全二冊

萬題集

一名題砂子 冬至庵庚午輯

八雲東溟校

全四冊

世の古集を一通り下りても古今とぞよし。此は本を慈翁と云ふ。先古人
数多家を経せ生世たりする名家より之を以ては其集に附す。先古人
外浦家より出り一時より安いにしむ。後から事法などもあつて是れを
らむはあたまもつゝ也。

同 狹蓑集

仁比多居碓嶺輯

小本四冊

俳諧由毎の日

桃隣大人撰

全一冊

同 言苗集

錦舍素柳編
笠櫛素行校

横本二冊

今人發句集

禾木園校輯

全二冊

四季發句帳

白秋七五二 州丸大人輯

全一冊

○假名遣物

万葉用字格 春登上人撰

全二冊

對照假字格

長野美波苗大人撰

全一冊

音便假字格

春登上人撰

小本一冊

○句集之部

嵐雪句集 一称玄峰集

全二冊

其角句集 故窩久藏集

小本二冊

蓼太句集

全六冊

吏登句集

全一冊

巢兆句集

全一冊

完來發句集

全一冊

梅翁宗因發句集

全一冊

太無發句集

全一冊

存義發句集

全一冊

獅子賦發句集

全一冊

柳居發句集

全一冊

耕牀瓶

甲斐艸丸集

葛里句集

全一冊

護物七部集

全一冊

乙二七部集

全一冊

饒舌錄 先木網大人著

全一冊

俳諧寐忘錄 春秋庵白雄著

全一冊

今七部集 冬至庵庚年撰

全一冊

今人附合集 禾木園校輯

全四冊

芳草集 同

芦のよしやうりと 田喜庵輯

○季寄之部

戀の葉 薩雪泰北元著

俳諧手挑灯 一名俳諧初心手寫

同 掌中小本

俳諧袖鏡

季寄便覽

俳諧通言

俳諧變體一覽

○文之部

新編俳諧文集 文をじよも

全二冊

俳諧變體一覽

袖定規 表俳諧定體變體之圖

古歌集の古哲俳諧の変化の程度を含むて其の圖

俳諧基礎

兩面一枚榻

全二冊

○掌中寸珍物 集艸をもつて

掌中五百題初編

集艸 初編

二編

三編

四編

五編

六編

三編

芭蕉發句集

其角發句集初編

二編

嵐雪發句集初編

三編

集艸八

集艸九

集艸十

集艸十一

集艸十二

集艸十三

集艸十四

集艸十五

集艸十六

新五百題初編
一編
三編

古今撰

猶追々出韻

俳諧一葉集

薄用摺

續今人五百題 涉壁爲山輯

掌中故人五百題 松露菴主人著

前編五
後編四
帙入全五
全二冊冊全一冊冊

橫本全

芭蕉翁略傳 附錄附

全二冊

近世俳諧十家類題集 過日庵祖鄉輯

全二冊

同 名家類題集 同 著

全二冊

續枯尾花集 小蓑庵碓嶺著

全二冊

類題狡蓑集雜之部 同 輯

全二冊

諸國名家集 安房之部

笠柄素行輯 諸國追々出版仕合

全二冊

古今五百題

全四冊

俳諧獨聟古

全二冊

俳諧道の便

全二冊

俳諧戀の禁

全二冊

三都

京都三条通柳屋町
大坂心齋出雲寺
江戸芝神明前橋北久太郎町

發行

同 安堂寺町
同 博劔町
同 日本橋通二町目
同 小岡田屋嘉
同 通壹町
同 浅草茅須原町
同 本石町十軒店
同 下谷御成道英
文 藏 助藏板

書林

